

中国運輸局の最近の取組について

バスの乗り方教室・バリアフリー教室の開催

バスの乗り方教室とあわせたバリアフリー教室の実施



▲ヘルプマークの説明



▲盲導犬とのふれあい



▲「乗り方パネル」を使って



▲車いす固定方法の説明

小学校等への出前講座の実施



▲白杖を使用した体験



▲バリアフリーリーダーと共に

当事者を交えたフリートーキング

やさしく声をかけてもらえると助かります。

困っている時は、どうしたら良いと思いますか？



国土交通省では、平成30年5月に公表した「交通事業者向け接遇ガイドライン」の実施を促進するため、「交通事業者向け接遇研修プログラム作成等のための検討会議」で検討を行い、交通事業者による接遇研修を充実するための研修モデルプログラムを作成し、平成31年4月10日に公表しました。

中国運輸局でもバス・タクシー・鉄道・旅客船の各モードの事業者に、この接遇研修プログラムを配布して、各社の接遇研修がより一層の充実するよう努めました。



◀接遇研修プログラムの冊子。
バス編・タクシー編・鉄軌道・
旅客船編・航空編があります。

優れた取組の表彰について

国土交通省バリアフリー化推進功労者大臣表彰（平成29年度）

鳥取県、公益財団法人日本財団、
一般社団法人鳥取県ハイヤータクシー協会

200台のUDタクシーの導入に加え、空港・駅を中心にUDタクシー専用の待機場所の整備、乗降場案内看板の整備、段差解消整備を行った。また、ソフト面でも高齢者・障害者等の特性を理解した接遇向上のためのユニバーサルドライバー研修を県内タクシーの全乗務員に実施することとしている。



中国運輸局環境保全及び交通バリアフリー等関係表彰（平成30年度）

岡山市

高齢者・障害者などの利用者が安全にバスの乗降を行えるよう、バス停のバリアフリー化の推進に取り組んだ。

ボランティア鯉城の会

広島を訪れる障害者の方々の目的地までの移動について、それぞれの障害の特性に配慮し、観光案内を行った。

